



# J A C 北九だより NO 7

社団法人 日本山岳会 北九州支部

Kitakyushu Branch Of The Japanese Alpine Club

発行所：社団法人・日本山岳会  
北九州支部事務局(日向)  
北九州市小倉北区熊谷 4-14-17  
TEL・FAX 093-592-0275

発行人：吉村健児

編集人：溝部忠増・三上忠人

## 2002年度の山行各地で展開 多彩なプランを企画

J A C 11977 溝部 忠増

新年度(2002年4月～03年3月)の山行など、J A C北九支部の年間プランを、10月・11月役員会を中心に、検討を重ねてきましたが、別表(同封)のように固めました。

今後さらに調整を重ねて、よりよきものにしていきます。この機会に、会員の皆様のご意見・アイデアを、支部事務局に寄せてください。

今年度の主なプランのねらいは

- ① 将来の海外遠征に備えた強化訓練に努める
- ② 新人発掘のためのやさしい入門コースを、充実する
- ③ コースによっては、健脚・一般・初歩向きなど、あらかじめ選別し、参加会員の班別行動を考える
- ④ 本部・他地区支部の行事に努めて参加する会員の皆様に、斬新なアイデアを寄せていただき、よりよき山行を願うものです。

02年山行計画について問題点はないか、年令的に見て、あるいはコース選択など、具体的に、ご意見をお知らせください。

- ① ××月の山行はぜひ参加し、幹事として世話役を希望する
- ② ××月×旬ごろあの山は美しい花が咲くので、みんなで歩きたい
- ③ 会員が個人的に企画されている山行や、会員が主宰する山の会に、会員の参加を希望

される方は、そのプランを早めに寄せて下さい。

- ④ 山行以外に、講演会・ゼミナー・特殊技術訓練など、ご提案はありませんか

以上支部事務局へ、ご意見を寄せてください。役員会で検討のうえ、実現に努力します。

なお、現在支部で固めた02年山行計画については、いずれも2ヵ月前までに具体的な行動細目を決めて、問い合わせに応じます。

また、いずれも役員が分担して、担当幹事を勤め、催事の成果を挙げ考えられるよう、強力に推進していくつもりです。



## 新たな第一歩を感じた 全国支部懇談会に参加

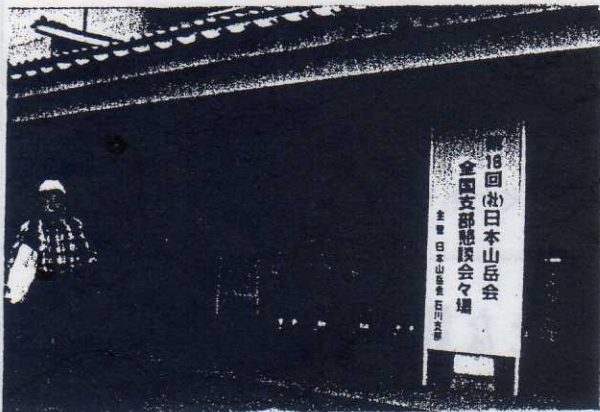
J A C 13499 伊藤 久次郎

私、36年間の公務員ぐらしと共に、職場の山の同好会に籍をおいていた。昨年定年退職したところ、待っていましたとばかり、日本山岳会北九州支部が発足し、同時に入会。縁あってこの夏、本部会員にいただいた新人です。そしてまた9月29・30両日、J A C全国支部懇談会石川大会に参加できた。北九州支部よりは吉村支部長他4人が参加、まず会場の豪華さにびっくり。全国からの約180人が、楽々納まる昼の宴会場。

加賀温泉でも指折りのホテルだった。1日目は懇談会と懇親会。参加者の多くは登山スタイルで白山山頂をめざす人や、他の山に登ってきたグループなどさまざま。九州で特に目立ったのは、宮崎支部。東九州支部が1人なのに比べ、何と18人の大部隊で、うち女性が13人、北アルプス(立山)遠征を兼ねての参加でした。

2日目は、160人で白山スーパー林道沿いにある三方岩岳(1797米)へ登山。

初参加で感じたことは、全国より集まるという規模の大きさ、会員歴50年以上の吉村支部長はまるで同窓会みたいな感じで、話がはずんでいました。私も直接、大塚会長やベテラン会員とお会いする機会ができ、自分にとって新たな人生の出発を感じたものでした。



## JACのホームページ

JAC 10448 江頭 清一

現在、JAC北九州支部のホームページを、ひとりですこすこ作っています。12月中に作業を終えて、来年1月早々にも公開する予定です。

なるべく早くみなさまに情報が提供できるようなホームページにしたい、と鋭意努力中です。また支部会員のみならず、ご意見や・ご希望のメールの到着をお待ちします。

いただいたメールのご意見・ご提案は、今後の

支部役員会に反映させて、よりよいJAC北九州支部の展開を図りたいと思っております。

## 遭難事故 / まず110番を

JAC 13465 大楠 益弘

山で自らが事故に遭ったり、まわりの人が遭難した時、どのように処理をしたら良いのか、元福岡県警察山の会会長の伊藤久次郎会員に解説してもらった。

山での通報は、無線器が一番。私はアマチュア無線器を持参するが、最近は携帯電話を当てにして、重い無線器は余り持たない。これは良くない。携帯電話は不通地帯が多く、九重の坊ガツルでも感度悪く、祖母・傾などの山奥となれば、なお携帯電話は役に立たない。

まず、連絡先は110番がベスト。山の麓にはほとんど交番は無く駐在所だ。その駐在所は不在所といわれるくらい、常に不在時が多く、連絡先適していない。全て110番です。

110番の通信司令室は、各県に1箇所・県警察本部にある。司令室は年中無休の24時間営業だから、何時でも通じる。また通報があれば、すぐに地域の地図が、画面に映し出され、現場を把握する。と同時に、発生管轄の警察署とパトカーに、無線で司令が入るようになっている。

携帯電話が通じる場合は、直接110番へ。無線器の場合は、無線に出た相手の人に110番通報を依頼する。

では、110番通報するときの内容は。ケガをして動けなくなったり、重傷者がいる場合は、直ちに警察署に通報しなければならない。その際まず、通報した人の、住所・氏名・年令・職業・連絡先などを、聞かれます。

そしてケガ人のいる場所・ケガの原因と容態・ケガ人の住所・氏名・年令・職業・連絡先などをできるだけ詳しく伝える。

人のいる近くの山小屋に駆け込むときは、ケガ人から、これらの情報を聞きだしてから、行動に移ると良い。警察に届け出ると「こうしてほしい」という指示があると思う。なるべくその指示に従ってほしい。また場合によっては、ヘリの要請も必要となってくる。

これらの連絡事項は、あらかじめメモしておくと、よりスムーズいく。岳人として山行には、必ず氏名・年令・職業・連絡先などの携帯は、常識としてもらいたい。

以下、山と渓谷「山のトラブルブック213の解決法」から一部を抜粋してみた。

○ 事故の状況は、まずメモしてから伝える。

気持ちが動揺しているとき、伝える内容が不備になりがち。正確に状況を伝えるため、救助要請のための必要事項を、必ずメモしてから伝えること。

○ 救助メモとは

① 「事故の状況」は、場所・時間・どのような状態（道迷い・ケガ・病気など）

② 「事故者について」は、名前・年令・性別・血液型・負傷の程度（意識・出血の有無など）

③ 「連絡先電話番号」、自宅や所属先など

④ 「救助隊の要請」、をするか・しないか

⑤ 「現場の救助メンバー」、

⑥ 「緊急連絡先電話番号」、

⑦ 「今後の行動について」、

などを、一枚の紙にまとめてから、落ちついて連絡すること。

事故・遭難は、誰れしも、動転・動揺は避けられない。しかし落ちつきが肝心というもの

若い会員に脱帽

## 「年次晩餐会」に初参加

J A C 13471 板倉 健一

2001年12月1日、皇太子妃雅子さまが、女の子をおさまを出産された日、日本山岳会の年次晩餐会が、東京、新高輪プリンスホテルで催されました。

北九州支部から、吉村支部長、日向事務局長ら5人が参加しました。今年度の新人、伊藤久次郎さん・山崎和子さんと私の3人は、壇上でみなさんより祝福されました。

年毎に高齢化のすすむ日本山岳会で、今年度の会長特別表彰の石川直樹さんは大学生。最年少で5大陸最高峰を完登したアルピニスト。いばらず優しい表情は、とてもすがすがしさを感じました。

新会員を代表して挨拶をした、高橋末玲さんも大学生で、しっかりした内容に感心しました。

若い人たちの前向きな活動ぶりは、諸先輩達にも強い感銘を与えたようでした。

会場での吉村支部長の交遊ぶりは驚くほどで、50年にわたるJ A C活動の賜物だと思いました。

## 北九州支部 門司グループの活動メモ

J A C 13471 板倉 健一

(2001年) 10/21 戸の上山清掃と小屋補習材の搬入

11/18 戸の上山・藤松登山道の整備

12/ 4 12月例会と忘年会

12/15.16 訓練山行(大山で雪上訓練のための)

12/23.24 久住山

(2002年)

1/12.13 訓練山行(大山で雪上訓練のための)

2/ 9.11 『大山』で雪上訓練と頂上往復

支部門司グループの月例会は、毎月初旬に門司区大里・中部公民館で開催。門司区以外の方の参加を大歓迎です。

## 駄賃付けをしのび、「霧立越」を歩く

今年9月の2連休に宮崎県の「霧立越」に、一人でかけた。中世、平家の落人たちが、椎葉の特産品を持ち出し、塩と交換するための交易の道であり、椎葉におけるシルクロードであった。

霧立越が最も利用されたのは、明治～大正から昭和初期まで。自給自足を原則として生活していた椎葉の人々にも、現金が必要な時代になってきた。子供を中学にやれば寮生活、小学校でも高等科であれば、同様に他所に出なければ学校にいけない。

そのため、椎葉の産物、椎茸をはじめ、茸類や茶、シカなどの毛皮を、馬見原(熊本県蘇陽町)に持ち込んだ。そこよりは、現金はもちろん、米・酒・醤油・味噌・塩の仕入れであった。

タルや米俵を馬の背両側に積み、2～3頭の馬を4～5人でキャラバンを組む。この運搬に対し駄賃を与えたので「駄賃付け」と呼ばれていた。そして、1979年、向坂山(1684)と白岩山(1646)で、宮崎国体の山岳競技が行なわれた。向坂山の斜面に、近年五ヶ瀬スキー場もできて、林道も改修され、車で容易にアプローチできるようになった。

前夜、下関を出発し、阿蘇外輪山を走る頃には雷雨。五ヶ瀬スキー場に着いても、稲妻が走る。車で寝袋に入るが、雷鳴で寝付くことができなかった。

暗いうちに起きだし、リフト乗り場で飯を炊く。シカがないている、7時10分カシバル峠・木

J A C 11454 井上 佑

の祠にある登山ノートに記帳を済ませて出発。

御防畑の登山口指導標には、「扇山小屋まで8.9km」とあり、案外近いなと安心する。

鞍部、杉ヶ越に上がると、ここはスズタケとブナ林の世界になり、たちこめる霧と、相まって靈幻の感、単独行の寂しさが喜びとなる。

### 《稀少植物も》

北に行けば向坂山だが、南に向かう。この山塊は九州で最も高い石灰岩峰で、カルシュウムが多く、アルカリ土壌のため、並みの植物には厳しい環境。大陸系のイワギクや北方系のホタルサイコド、稀少植物が見られる。周辺は、林野庁の「九州中央山地生物遺伝資源保存林」に指定されている。

最初のピーク白岩(1620)に登る。石灰岩の岩峰、穴も見受けられ、下は小さい鍾乳洞らしい。霧のため、西方の向霧立の国見岳(1739)ど見えないが、耳川源流部が望める。

次に、水呑の頭(白岩山1646・三等三角点)霧立越の道は白岩の東を走り、水呑の頭から南方は西側を通っているのに、国土地理院の地形図は5万・2.5万とも、稜線に破線を記入している。これは誤りと思う。

霧立越の稜線直下の山腹を通じているので、比較的高低差が少なく、歩きやすい。尾根への登りと下りでアルバイトを要するが、これが先人の知恵。現代は川沿いに道を作るが、雨が降れば流さ

れるので、山上に道を作ったのである。

水呑の頭をすぎれば、ヤブではないかと思ひ、鉈を持参したが、スズタケが刈り払われていた。

馬つなぎ場に到着。ここは広く20頭くらいの馬が休める広場で、コーヒーを沸かし一息つく。

倒れかけたブナ林を潜り、灰の木頭(1620)をすぎるとミズナラが多く。紅葉にはまだ早く静かな山道が続く。

右側の耳川の上端、その向は九州の背骨。37年前の夏、夏山合宿で、国見岳・五勇山(1662)・烏帽子(1692)・石堂屋(1334)を縦走し、夜ヤブ蚊の襲来を受け、仕方なく椎葉ダムに下りてキャンプした。

ここまで来るとシカのなき声も、イノシシの走る音もなく、寂しさを感じた。径は平坦であり、稜線近くを行く。白水山(1444)は、気をつけたにもかかわらず、三角点を見落とした。

### 《地元でコース整備を》

平家ブナに着くと、霧も次第に晴れて、石堂屋がのぞいた。茅場を進むが、この付近は転落の恐れある危ないところ、ようやく扇小屋に着く。

椎葉の駄賃付けの人々にとっては、椎葉より急登であり、ここまで来ればホットしたであろう。小屋には囲炉裏もあり一服。小屋のノートを見ると地元の人たちが、コース整備をしたことが書かれていた、感謝・感謝。

ここで霧立越と別れて、最後のピークである扇山へ。ツクシシャクナゲの群落の中道を登ると、ほどなく石灰岩のある頂上に出た。岩の上からは歩いてきた尾根が見渡せ、達成感が高まる。頂上一帯はツクシシャクナゲが多く。6月頃、見事であろうと想像した。

東にシャクナゲのトンネルを下ると、ヒメコマ

ツの白骨林に出た。ここもまた絶景。烏帽子岩も同様に石灰岩であった。杉の植林地に入り、まもなく林道へ。長い林道は未舗装からアスファルトに変わり、ビブラムの靴底にはこたえた。壁に沿って林道は左右に下るが、なかなか人家には達しない。

やっと、見の木三軒が見えて、内の八重では、稲刈と脱穀の最中。人が手を休めて「よく釣れましたかい」と聞くので「いや、スキー場から霧立越を歩いてきました」と答えると「それは大変、何時間かかりましたか」「7時過ぎから歩いています」シカは見たが、本日初めての人との会話。

### 《シカを見たが》

利根川の向こうは国道だということで、道端に男が一人座り込んでいる。よく見ると猟銃、聞くと、山からシカを追って、待ち構えているところだという。

吊り橋を渡ったところがバス停だった。この場所・利根川神社の「八村杉」は樹齢800年、那須大八郎が、平家残党の討伐の時に植樹したもの、と語り伝えられている。バスは村営で、しかも隣町までしか走らない。そこで通りがかりの、ご夫妻の車でヒッチハイク。貫通間もない「国見トンネル」を抜けると、あっという間に本屋敷に着く。

五ヶ瀬町本屋敷は標高674m。これから林道1300mまで登らなければならない、波帰で、さすが疲れをおぼえる。「ヤマメの里」の料理を横目で眺め、疲れた体に鞭打って先を急ぐ。スキーシーズンをひかえて、道路改修もあり、迂回路を登る。駐車場の下にシカが出ていた。すぐ音もたてずにヤブに入った。

なお、溝部忠増会員も、11月16日に16人

の仲間で、霧立越を縦走。御防畑 → 内の八重を約6時間で歩き、晩秋の霧立を満喫してきた。

○  
雨天のなか  
「宮崎ウエストン祭」

J A C 11977 溝部 忠増

(前略) 1890年(明治23年11月6日)

あなたが30才の時に登った祖母山。それから111年がたつ……。ご覧のようにその雄姿は、ちっとも変わらず、心のシンボルとして、私たちの暮らしを見守ってくれている(略)日本の自然の美しさ、自分の足で確かめながら、その深遠さとすばらしさを世界に紹介……。祖母山を望む宮崎県高千穂町の五ヶ所高原に、J A C宮崎支部長大谷 優さんの高らかな声が広がった。

第117回ウエストン祭は、高千穂町とJ A C宮崎支部の主催で、文化の日の11月3日、各地より参加した山岳関係者の前で催された。記念碑には、日の丸の旗・英国国旗・J A C旗などが飾られ、地元のこどもたちがお花を供え、大谷支部長の、ウエストン卿にささげる誓いの歌に続いて、石井久夫さん(J A C会員)のミニ講話。参加者全員によるエーデルワイズのうたが、高原にひびきわたった。

このあと雨天の中、祖母山(1757米)をめざし、北谷登山口から前進をはかったが、雨天悪条件のため、いずれも途中より引き揚げた。

本番の祭りに先立って、前日の11月2日夜は地元の人たちの主催した前夜祭もあり、ウエストン祭りにかける村おこしの熱意を感じた。

なお、J A C北九州からは日向事務局長、溝部忠増、高島拓生会員らが仲間9人とともに参加。

J A C宮崎の方々との交流を深めた。

《新刊 紹介》

「知られざる、W・ウエストン」

著 J A C会員 6217 田畑 真一

発行 信濃毎日新聞

「近代登山の父」といわれる、上高地での「ウエストン祭」の主人公である、オルター・ウエストン(英国人宣教師)。日本登山界の恩人として明治・大正時代を見つめた証人でもある。

1888年(明治21年)初来日以来、三度にわたって日本に滞在、富士山・穂高・立山・北岳・祖母山など、わが国の代表的な山々を踏破した著者は、日本各地に彼のその足跡を追って40年。ウエストンゆかりの土地で、ゆかりの人々の秘話を検証、そして日本の人々を愛した彼の全人像にせまった、興味ある読み物。(1,600円)

○  
《1月・2月 山行 予定》

◎ 新春の「古処山」へお誘い

と き 1月20日(日) 小雨決行  
集 合 A 午前6:30 下関駅前東急ホテル前  
B 午前7:00 小倉駅北KMMビル前  
C 午前7:15 引野口高速バス停  
ハガキ・FAXにて・日本山岳会北九州支部宛  
1月11日まで・先着20人会費6,500円

◎ 大山スキーツアー 車中1泊・ホテル1泊

と き 2月1日(金)夜出発 3日夜帰着  
集 合 午後10:00 小倉駅北KMMビル前  
現地宿泊1泊 2/2泊 大山河イダルホテル  
ハガキ・FAXにて・日本山岳会北九州支部宛  
1月10日まで・先着15人会費21,000円

◎ 冬の「十種ヶ峰・青野山」へお誘い













と き 2月23日(土)・24日(日)  
集 合 A 午前7:00 博多駅前朝日ビル  
B 午前7:50 引野口高速バス停  
C 午前8:15 小倉駅北口KMMビル  
D 午前8:50 中国自動車道王司PA  
ハガキ・FAXにて・日本山岳会北九州支部宛  
2月13日まで・先着20人会費25,000円

# 平成14年度 山行計画(案)



山行計画

平成13年11月10日

行事	山名	コース	期間	金額	担当	記事
4月 総会	英彦山	前日、翌日 3コース	20日、21日 1泊2日		事務局	
5月 歓迎登山	九重	大船山	26日～27日		板倉	ミヤマキリマ 
6月 春山	北アルプス	3通りのコースを 用意する	5月30日～6月1、2日			ウエストン祭 
7月 薬草登山	平尾台	貫山	日帰り	10,000円 テキスト代	三上	定例化 足立山
8月						
9月 夏山登山	広島		日 1泊2日		未定	全国支部懇談会に参加 
10月 秋山登山	尾瀬		2泊3日		大楠	秋の尾瀬を楽しみましょう 
11月 秋山登山	ウエストン祭	祖母山	1泊2日		溝部	
	九重	黒岳	1泊2日			
12月 忘年会	鬼ヶ城		1泊2日		未定	下関山岳会と合同忘年会 
	東京	翌日山行	1泊2日		〃	
1月 新春運登山	開聞岳		2泊3日		大楠	菜の花と霧氷 
	高隈山		9日、11日 2泊3日			ヒマヤラに向けて 
2月 冬山	大山		日、日 2泊3日		三上、足立	スキーの上達 
	大山		2泊3日			
3月 早春登山	諸塚山		上旬 1泊2日		溝部	山開き 



平成13年度  
 1月20日 古処山 日帰り  
 2月23、24日 十種峯 1泊2日  
 青野山 1泊2日  
 3月2、3日 諸塚山山開き